

令和7年度 大田区立小学校長会

I 活動の基本方針

大田区立小学校長会は、「第4期教育振興基本計画(国)」「東京都教育ビジョン(第5次)」「大田区教育大綱」及び「おおた教育ビジョン」等の趣旨を踏まえ、本区小学校教育の充実を目指し、着実かつ継続的に教育実践を重ねている。令和7年度、第4期大田区教育振興基本計画(おおた教育ビジョン)は2年目となる。

現代は将来の予測が困難な時代であり、こどもたちは現代からは予想困難な社会の変化に対峙していかなければならない。このため、今後の教育では、児童が社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、課題を解決していく意欲や資質・能力を育成する必要がある。また、一人一人が他者とつながる中で、笑顔があふれ、幸せや豊かさといったあたたかさを実感できる社会を創ることが大切である。ビジョンの理念である「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」を小学校においても、その実現のための素地となる資質・能力の育成を図る教育活動の実施を目指す。区の施策では、STEAM 教育等の教科等横断的な学び(「おおたの未来づくり」)が小学校全校で実施となる。また、グローバル人材の育成として外国語教育の拡充、いじめや不登校、問題行動等の対策、コミュニティ・スクールの推進等の様々な取組が堅実に推進されている。その上で、こどもの健全育成、教育課程への対応、働き方改革、教育環境に係る条件整備等、学校経営上取り組むべき課題は山積している。特に、教員一人一人の人権意識や授業力の向上といった人材育成、人材不足による教員の未配置等は喫緊の課題である。

このような状況の中、私たち小学校長会は、その職責の重大さと都民・区民の期待の大きさを十分自覚し、将来を担うこどもに未来社会を見据えた「社会の変化に主体的に対応し未来を創る力」を育成する。そして、こどもに秘められた個性や可能性を引き出すために、魅力的な学びの場を創り、学ぶ喜びを感じられる意欲あふれる学びの提供のため、使命感をもってリーダーシップを発揮することが求められている。

その命題に正面から向き合うべく、私たちは「大田区の教育がめざすこども像」を踏まえ、校長相互の連携を密にするとともに、力を結集して課題解決に取り組む決意である。

II 小学校長会の活動・取組

- 各種校長会 校長総会、ブロック校長会、校長会役員会、設置校長会
- 各種委員会
 - ビジョン委員会 教育上の諸問題を調査・検討するとともに中長期的な展望で経営課題を研究し提言する。
 - 人権教育委員会 人権教育の諸問題や実態を調査・検討し人権教育及び人権啓発教育に寄与する研究を行う。
 - 学校行事委員会 学校の行事等についての諸問題や実態を調査・検討し、円滑な実施に向けて計画提言する。
 - 健全育成委員会 生活指導上の諸問題や不登校等の実態を調査・検討し、健全育成に寄与する研究を行う。
 - 健康教育委員会 学校・児童の健康、安全、食育に関する諸問題の実態を調査・検討し研究や提言を行う。
 - 人材育成委員会 管理職候補者とミドルリーダーの育成を目的とした経営研修会の企画・運営を行う。
 - 特命担当委員会 教育に関する諸会議へ参加し、各種教育課題について解決を図るための研究を行う。
 - 区教研運営委員会 中学校と連携して大田区教育研究会を組織し、大田区教職員の研究と教養を深める。
- おおた教育ビジョンに基づく取組
 - 区独自教科「おおたの未来づくり」の研究・推進、科学教育推進、大田区独自国際理解教育「おおたグローバルコミュニケーション(OGC)」の実施
- コミュニティ・スクールの推進
 - 令和8年度中に区立小中学校全校での実施をめざす
- 教職員の資質向上 経営研修会
 - 教員の人材育成の一環として、教育管理職候補者研修、主任教諭選考研修、講演・職務レポート練習・面接練習等を実施。
- 教育委員会との連携・協力体制 教育政策協議会等
- 保護者・地域・関係機関との連携

III 本区の特徴

59小学校及び館山さざなみ学校(病弱特別支援学校)を有する大きな区であり、地域特性や住民・児童の実態・課題等も実に多様である。本年度(令和7年度)から全区展開となる区独自教科「おおたの未来づくり」についても、各学校の特徴や地域の特性、地域人材や連携先等を考慮し、区全体を6つのエリアに分けて実践研究を進めている。